

第77回 関東合唱コンクール開催要項

(第75回 全日本合唱コンクール関東支部大会)

- 1 主催** 全日本合唱連盟関東支部・朝日新聞社
- 2 後援**
＜高等学校部門・中学校部門＞
新潟県・新潟県教育委員会・新潟市・新潟市教育委員会（以上予定）
＜大学職場一般部門＞
神奈川県・神奈川県教育委員会・相模原市・相模原市教育委員会（以上予定）
- 3 主管**
＜高等学校部門・中学校部門＞
新潟県合唱連盟
＜大学職場一般部門＞
神奈川県合唱連盟
- 4 と き**
高等学校部門A・Bグループ… 2022年9月17日(土)9時30分開会
中学校部門混声・同声 …………… 2022年9月18日(日)9時30分開会
大学職場一般部門 …………… 2022年10月9日(日)9時30分開会
- 5 ところ**
＜高等学校部門 A・Bグループ、中学校部門 混声・同声＞
りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館大ホール（1,890席）
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2（Tel025-224-7000）
＜大学職場一般部門＞
相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）大ホール（1,240席）
〒252-0303 相模原市南区相模大野4-4-1（Tel042-749-2200）
- 6 審査員**（50音順・敬称略）
＜全部門とも＞
相澤直人、 雨森文也、 菅野正美、 鈴木茂明、 本山秀毅
※審査員からの個別指導は受けられません。
- 7 出演の人数及び資格**
(1) 全日本合唱連盟関東支部に所属する茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、静岡の各県の合唱連盟に加盟している合唱団で、県大会で各部門の代表として当該県理事長の推薦を受けた合唱団、及びシード合唱団であること。

(2) 各部門の出演合唱団の人数及び資格は次のとおりです。

ア 中学校部門

① 出演人数は6名以上。

② 同一中学校に在籍する生徒で編成する合唱団。

③ 複数中学校（3校以内）の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し当該県の理事長が認めた合唱団。ただし、1校は人数の上限を定めないが、他の学校はそれぞれ8名未満の生徒で編成するものとする。

④ 同一中学校から複数の合唱団が出演できる。その場合、出演単位でそれぞれの合唱団が加盟しなければならない。ただし、同一種別内では出演者の重複を認めない。種別とは混声合唱団・男声合唱団・女声合唱団を指す。

⑤ 中高一貫校は中学校相当学年を中学校部門として扱う。

イ 高等学校部門

① 出演人数は6名以上。

② 同一高等学校に在籍する生徒で編成する合唱団。

③ 複数高等学校（3校以内）の生徒で編成する合同合唱団で、常時活動し当該県理事長が認めた合唱団。ただし、1校は人数の上限を定めないが、他の学校はそれぞれ8名未満の生徒で編成するものとする。

④ 同一高等学校から複数の合唱団が出演できる。その場合、出演単位でそれぞれの合唱団が加盟しなければならない。ただし、同一種別内では出演者の重複を認めない。種別とは混声合唱団・男声合唱団・女声合唱団を指す。

⑤ 中高一貫校は高等学校相当学年を高等学校部門として扱うが、中学校相当学年の生徒を含めた編成で出演することもできる。その場合、当該生徒は中学校部門に出演することはできない。

ウ 大学職場一般部門

① 大学コースの部

出演人数が6名以上で、出演するメンバー全員が、当該年の4月1日現在28歳以下で編成する合唱団。

② 室内合唱の部

出演人数が6名以上24名以内で編成する合唱団。

③ 混声合唱の部

出演人数が8名以上で編成する混声合唱団。

④ 同声合唱の部

出演人数が8名以上で編成する男声合唱団もしくは女声合唱団。

⑤ 大学職場一般部門では、同一合唱団は1回に限り出演できる。

なお、高等学校部門・中学校部門に加盟する合唱団は出演できない。

(3) 指揮者・伴奏者・独唱者の出演資格は問いません。ただし、高等学校部門・中学校部門の指揮者・伴奏者・独唱者については、当該校長が認めたものに限りです。

また、指揮者・伴奏者・独唱者は出演人数に含みませんが、合唱メンバーに入って歌う場合は出演人数に加えるものとし、かつ上記の出演資格を満たさなければならないものとしします。

(4) 大学職場一般部門において前年度関東大会に出演し、全国大会に出場権を得た団体（シード合唱団）は、関東支部推薦団体として支部大会に出演できます。

この団体は各県大会には審査の対象外で出演するものとします。
（高等学校部門・中学校部門についてはシード制はありません。）

本年度のシード合唱団は次のとおりです。

大学ユースの部	Ensemble SAKAE（埼玉県）
室内合唱の部	La Mer（埼玉県）
同声合唱の部	La Pura Fuente（神奈川県）
	男声合唱団 APERTASS（埼玉県）
混声合唱の部	VOCE ARMONICA（千葉県）

(5) 全国大会シード合唱団について

大学職場一般部門において前年度の全国大会で金賞を受賞し、全国大会シード合唱団となった団体は、審査対象外で全国大会の出演が認められていますが、本大会への出演が前提となります。

（高等学校部門・中学校部門については全国大会でのシード制はありません。）

◆本年度全国大会シード団体……………大学ユースの部 都留文科大学合唱団（山梨県）

8 編成区分の別

(1) 中学校部門では混声合唱の部・同声合唱の部の2つの編成区分、高等学校部門では出演人数32名以下のAグループ・出演人数33名以上のBグループの2つの編成区分、大学職場一般部門では大学ユースの部・室内合唱の部・混声合唱の部・同声合唱の部の4つの編成区分に分けます。

(2) 支部大会では各県理事長が県代表として推薦した県大会のときの編成区分の別を変更することはできません。

(3) 関東支部推薦団体（シード合唱団）として支部大会に出演する合唱団は、前年度の全国大会に出演したときの編成区分の別を変更することはできません。全国大会シード合唱団も同様とします。

(4) 本大会の出演申込人数については県大会申込人数の10%まで増員を認めます。ただし、県大会申込人数が40名未満の場合は4名の増員まで認めることとします。（高等学校部門Aグループは32名を、大学職場一般部門室内合唱の部は24名を超えることはできません。）また、申込後の人数の増員は、上記の範囲内で本大会申込時の人数の10%までとします。

なお、今回特例として、全日本合唱連盟のガイドラインに沿ってメンバー間の距離をとるか、または県大会の会場となる施設の使用規制により出演人数に制限のかかる団体には、県大会の際に出演希望人数を「登録数」として申告してもらうこととします。

9 出演順（別紙参照）

出演順は、高等学校部門A・B（9月17日）、中学校部門混声・同声（9月18日）
大学職場一般部門大学ユース・室内合唱・同声合唱・混声合唱（10月9日）の順

とします。

各部門の出演順は本年5月14日の運営委員会で各県運営委員の抽選により別紙のように決まりました。

※各県の代表団体数が予想団体数を超えた場合及び不足した場合等は、次のように取り扱うものとします。

- (1) 超えた場合 当該県の最終演奏団体に引き続き演奏する。
- (2) 不足した場合 当該県の最終演奏団体より不足数を削除する。

10 演奏曲と演奏時間

- (1) 課題曲として全日本合唱連盟発行の合唱名曲シリーズNo.50から1曲を選択して演奏しなければなりません。ただし、中学校部門は該当しません。
- (2) 上記のほかに自由曲を演奏するものとします。自由曲については曲目、曲数に制限はありません。
- (3) 演奏順は課題曲、自由曲の順とします。自由曲を合唱名曲シリーズNo.50から選んだ場合は、第1曲目を課題曲とみなします。
- (4) 県大会、支部大会、全国大会を通して演奏曲目・曲目順・伴奏楽器を変更することはできません。
- (5) 伴奏楽器は自由ですが、ピアノ1台以外の楽器を使用する場合は各自の負担で用意・移動していただくとともに支部事務局に必ず連絡してください。
- (6) 演奏時間は次のとおりとします。演奏時間を超過した場合は失格とし、審査の対象外とします。

ア 中学校部門

自由曲のみ。演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて8分00秒以内。

イ 高等学校部門

自由曲の演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて6分30秒以内。

ウ 大学職場一般部門

自由曲の演奏開始から演奏終了まで曲間を含めて8分30秒以内。

なお、今回の特例として、8-(4)に規定する「出演人数に制限のかかる団体」については、曲間(課題曲と自由曲、自由曲の曲間)での出演者の入れ替えを認めることとしますが、演奏するすべての曲において出演上限人数で演奏するとともに、自由曲の曲間の入れ替えにかかる時間も演奏時間に含めます。

- (7) 審査員用として自由曲の楽譜5部を高等学校部門・中学校部門は新潟県合唱連盟事務局へ9月2日(金)必着、大学職場一般部門は神奈川県合唱連盟事務局へ9月30日(金)必着で提出してください。

楽譜の表紙には付箋を添付し、部門・編成区分名、出演順、合唱団名を記入してください。演奏の開始ページにも付箋を添付し、複数の場合は曲順を明記してください。また、審査員が見やすいように、楽譜にしっかり折り目を付けてから送付してください。

提出楽譜は、未出版等やむを得ない場合を除きコピーは不可です。コピー楽譜を提出する場合は、必ずすべての著作者・出版社の許諾を得ることとします。

11 審査と表彰

- (1) 審査は原則として過半数方式（新增沢方式）で行います。
- (2) 成績の発表は各日とも演奏終了後行います。
- (3) 各部門は編成区分別（中学校部門は混声・同声、高等学校部門はA・B、大学職場一般部門は大学ユース・室内合唱・同声合唱・混声合唱）に審査し、それぞれに対して金・銀・銅いずれかの賞を贈ります。
- (4) 各部門の最優秀団体に関東支部長賞を、全部門を通して総合1位の団体に全日本理事長賞を贈ります。
- (5) 各部門から審査員の合議により、全国大会に出演する団体を選出します。ただし、エントリーがない編成区分を除いて、それぞれの編成区分から必ず1団体以上選出します。

12 県大会から支部大会に推薦できる団体数

- (1) 県大会からの推薦団体数は、県大会の出演団体数により次のとおりとします。

ア 中学校部門

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。ただし、編成区分（混声合唱の部・同声合唱の部）に各1団体以上含むものとしますが、どちらか一方の編成区分のみの出演の場合でも推薦団体数は同じとします。

イ 高等学校部門

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。ただし、編成区分（Aグループ・Bグループ）に各1団体以上含むものとしますが、どちらか一方の編成区分のみの出演の場合は1団体を引くものとします。

ウ 大学職場一般部門

編成区分にかかわらず、次のとおりとします。

県大会に出演した団体数	5団体まで	2団体
〃	6団体～10団体	3団体
〃	11団体～15団体	4団体
〃	16団体～20団体	5団体

以下これに準じます。

- (2) シード団体は、上記出演団体数及び推薦団体数のいずれにも含まれません。

13 参加料

出演者 1 名につき、中学校部門 1,200 円、高等学校部門 1,800 円、大学職場一般部門 2,200 円とし、申込書提出と同時に納入してください。ただし、指揮者、伴奏者、独唱者、譜めくり者の参加料は不要です。

8-(4) に規定する「出演人数に制限のかかる団体」については、登録数ではなく出演上限人数分を参加料として納入してください。

いったん振り込まれた参加料は、原則として返金いたしません。増員の場合は、支部あてご連絡願います。

なお、参加証は申込人数プラス 3 枚（「出演人数に制限のかかる団体」については実出演人数プラス 3 枚）を参加料受領後郵送します。参加証で当該部門についての入場が可能です。

14 参加申込みと参加料の納入

参加団体は、各県大会終了後、**必ず 3 日以内**に支部事務局に届くよう申込書を送付してください。

また、参加料は**団体名**で下記の口座に振り込んでください。

なお、大学職場一般部門大学ユースの部は指揮者、伴奏者、独唱者、譜めくり者を除く出演者全員が 2022 年 4 月 1 日現在 28 歳以下でなければなりません。大学ユースの部に参加を申し込む団体は、申込書とともに出演予定の合唱メンバー全員の氏名、生年月日を記載した名簿（様式自由）を提出してください。

申込先（支部事務局）

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2 朝日新聞東京本社内
全日本合唱連盟関東支部事務局 TEL 03(6264)2372
FAX 03(6264)2391

振込先

銀行名	朝日新聞信用組合	本店
口座番号	普通	0422814
名 称	関東合唱コンクール	

15 経 費

参加に必要な交通費、宿泊費等は参加団体の負担とします。宿泊・お弁当については、新潟会場では「株式会社 JTB 新潟支店」(TEL 025-255-5101、FAX 025-248-7687、E-mail:niigata_ec@jtb.com)、神奈川会場では「名鉄観光サービス株式会社 横浜支店」(TEL 045-641-4166、FAX 045-641-4169、E-mail:yokohama@mwt.co.jp) が担当いたします。

16 入場料と入場券の販売方法

入場料（プログラム代金を含む）は以下のとおりです。

中学校部門 1 日券	一般 2,200 円（中学生以下 1,200 円）
高等学校部門編成区分券	一般 1,700 円（中学生以下 1,200 円）

高等学校部門 1 日券 一般 2,500 円（中学生以下 1,700 円）

大学職場一般部門 1 日券 一般 1,700 円（中学生以下 1,200 円）

高等学校部門に限り、1 日券のほかに編成区分（高校 A、高校 B）のみ入場可能な編成区分券を販売します。また、高等学校部門及び中学校部門の入場券の販売については、業者に委託して行います。販売委託する入場券のうち、高等学校部門の 1 日券及び B グループの編成区分券は事前販売のみとしますが、他の入場券については当日販売も行います。ただし、入場の状況により販売を中止する場合があります。

大学職場一般部門の入場券の販売については、従来どおり各県連または支部事務局を通じて行います。

このほか、各出演団体には割り当て入場券として、高等学校部門については該当する編成区分券の一般券を、中学校部門及び大学職場一般部門については 1 日券の一般券を各 15 枚配付します。代金は、参加申し込みの際に参加料と合わせて納入してください。

詳細は後日各県連あて通知するとともに、支部のホームページ等でお知らせします。

（なお、高等学校部門及び中学校部門の閉会式（表彰式）への出席は、出演者及び付き添い者のみとさせていただきます。入場券では客席内への入場はできませんのでご了承ください。）

17 その他

- (1) 来局申込みは毎週月曜日と木曜日の 11:00～16:00 の間にお願いします。
- (2) 天災、流行性疾病等大会開催に影響を与える事態が生じた場合、又は生じる恐れがある場合は大会を中止することがあります。
- (3) 参加料の領収書は銀行の振込受領書をもって代えさせていただきますが、特に連盟発行の領収書が必要な場合は申込書通信欄にその旨記入してください。
- (4) 自由曲については、プログラムに正しく掲載するために、演奏曲の楽譜の表紙（組曲の場合は組曲名のわかる部分）及びそれぞれの曲の曲名、作詞者、作曲者等が記載された楽譜の該当部分のコピーを必ず添付してください。
- (5) 県大会終了後、各団体の連絡者に時間帯記入の出演案内を郵送します。新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、感染対策についても詳述いたします。
- (6) 交通事情等連絡を必要とすることもありますので、同行者の携帯電話番号も記入願います。
- (7) 各種のお問い合わせは下記あてにお願いします。

○月曜日・木曜日（11:00～16:00）

支部事務局

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

朝日新聞東京本社内 全日本合唱連盟関東支部

TEL 03(6264)2372 FAX 03(6264)2391

E-mail kanto@jcanet.or.jp

<楽譜送付先>

◆新潟県合唱連盟事務局【9月2日(金)必着】

〒951-8521 新潟市中央区下大川前通六ノ町 2230-19

UX 新潟テレビ 21・朝日新聞新潟総局内

E-mail: jcaniigata.office.head@gmail.com (問い合わせはメールでお願いします。)

◆神奈川県合唱連盟事務局【9月30日(金)必着】

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4階 TEL 045-681-6033